

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年5月31日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年5月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【協力企業作業員の放射性物質の付着による身体汚染の発生について】 高温焼却炉建屋東側搬入口陥没箇所修理工事の資材運搬作業において、協力企業作業員の右耳まわり、あご下、首まわりおよび保護衣に放射性物質の付着を確認。 原因は当該作業員がGゾーンの作業において、Yゾーンにあった資材を運搬したことによるものと判明。 鼻腔スミヤにて放射性物質の内部取り込みがなかったことを確認済み。 今後、再発防止対策を検討。</p>	G II	5月25日
2	<p>【水質汚濁防止法に基づく立入検査時の指摘について】 福島県相双地方振興局(以下、振興局という。)による水質汚濁防止法に基づく立入検査において、し尿処理施設の浄化槽3基の特定施設設置届出書を提出していないこと、またこのうち1基は化学的酸素要求量(COD)について、排水基準の超過のおそれがあると指摘を受けた。 今後、速やかに特定施設設置届出書を振興局に提出する。また、無届けとなった原因や再発防止策を記載した改善報告書、ならびにし尿処理施設の排水基準を超過するおそれについて、再発防止策を記載した改善計画書を振興局に提出する。</p>	G II	5月26日
3	<p>【6号機残留熱除去系ポンプ(B)のミニマムフロー元弁の「開」固着について】 当直員が6号機残留熱除去系ポンプ(B)の点検において、ミニマムフロー元弁が「開」固着していることを確認。 下流側の電動弁にて「閉」操作が可能であり、系統に影響なし。 今後、当該弁を分解点検予定。</p>	G III	4月6日